

# 大西龍馬がゆく 心はいつも鞆龍馬ぜよ



## 鞆龍馬物語

### Vol.02 鞆の浦と龍馬の魅力を伝えたい



幕末の志士・坂本龍馬が滞在した鞆の浦（福山市）の樹屋清右衛門宅。羽織袴姿で腰にピストル模造刀を2本差し、観光客を2階にある7畳の「隠れ部屋」に案内する。

「柱、梁、壁これは龍馬が来た時のまま、ここで5泊しました」と語りかける。

客の反応をうかがいながら、「興味を持ってもらえたらかな」と心の中でつぶやく。

さらに独自で調べ上げた龍馬と鞆の浦にまつわるエピソードを披露し、自分のペースに巻き込んでいく。

「龍馬の姿になれるんだ」。

2010年、龍馬ゆかりの鞆の浦をアピールするため、福山市が龍馬の格好で町を歩くボランティア「鞆おもてなし隊」を募集していた。NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送に合わせた企画。時代劇が大好きで、子供の頃は役者に憧れていたから迷いはなかった。

龍馬ボランティアを始めて17年、これがきっかけだった。

一年間、観光客の記念撮影や世話に応じた。

放送終了後も、樹屋清右衛門宅のオーナーから「ずっと続けてほしい」と要望された。隊を続けているうちに、「龍馬姿で町を歩くだけではおもしろくない」と欲が出てきた。龍馬や鞆の浦の歴史を独自に解説しようと決めた。会社勤めの傍ら、ネットや本でひたすら調べた。客が飽きないよう、話は質疑応答の時間も含めて1回20分程度にまとめ、内容はストーリー性を重視した。客の反応を見て説明をカットしたり、新たな要素を取り入れたり「アップデート」も忘れない。

「私の存在が話題となり、鞆の浦を訪れる人が増えれば」と力を込めた。町歩きでは、観光客に率先して挨拶をする。地図を広げている人を見かけると「どこかお探しですか」と声をかける。「心を開き、親しみを持ってもらえるよう努力は惜しまない」写真撮影も断らず、構図やポーズも考える。

これまでに接した観光客から600通以上の手紙が届いた。

自分が撮影した鞆の風景写真を添え、全てに返事を出している。

何度も手紙をくれる人もいる。

過去には「龍馬さんお久しぶりです」と声をかけて来る人もたくさんいる。「失礼ですが」と事情を聞くと、数年前に来て写真一緒に撮りましたと言われる方が多く要る。

「また来てくれたんだー」と心の中でつぶやいた。

「鞆の浦と龍馬、両方の魅力を伝え続けたい」。

#### 【関連 web】

鞆龍馬おもてなし隊

<https://www.facebook.com/tomoryomatai>

鞆の浦 樹屋清右衛門

<https://www.masuya-seiemontaku.com/>

NHK大河ドラマ「龍馬伝」

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%BE%8D%E9%A6%AC%E4%BC%9D>

龍馬というは丸

[https://www.youtube.com/watch?v=PBvt1o5\\_Vwk&t=397s](https://www.youtube.com/watch?v=PBvt1o5_Vwk&t=397s)



#### profile

大西 公孝

江戸期の風情が残る港町、広島県福山市鞆の浦で坂本龍馬ゆかりの地として龍馬になりきって、観光客へおもてなしをしているボランティアガイド。

龍馬らの宿泊先として使われた旧商家、樹屋清右衛門宅が拠点。住時の姿をとどめる二階の一室などで、いろは丸事件や龍馬の生涯を語っている

